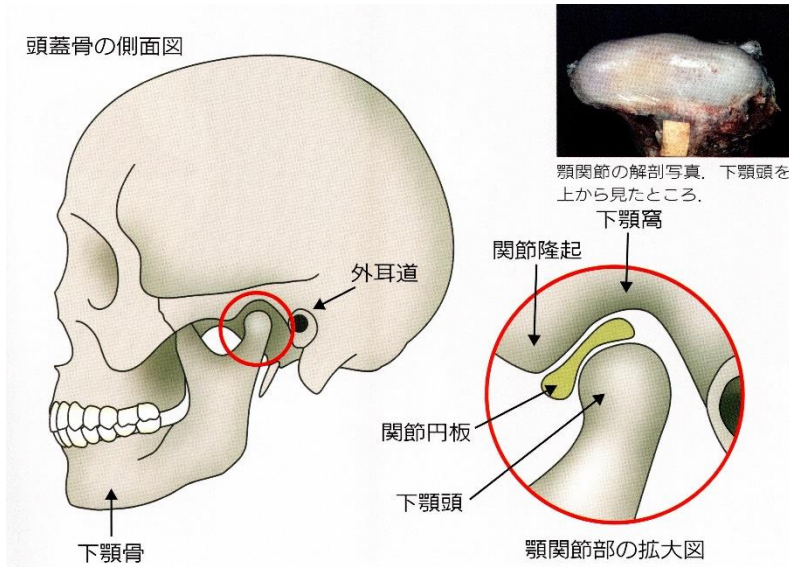
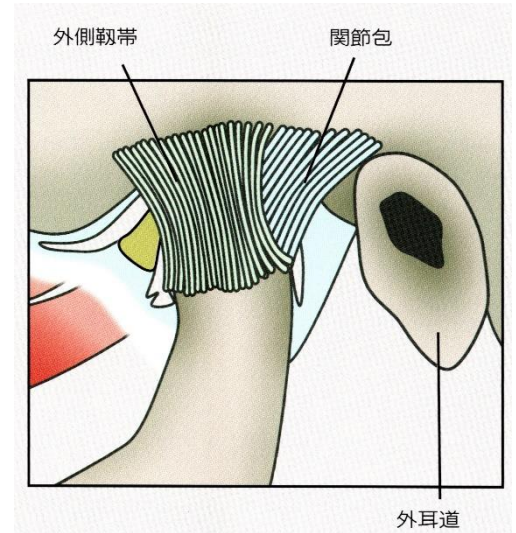


1. 顎関節症

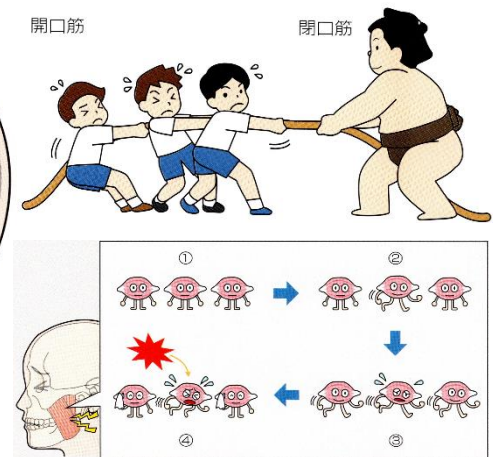
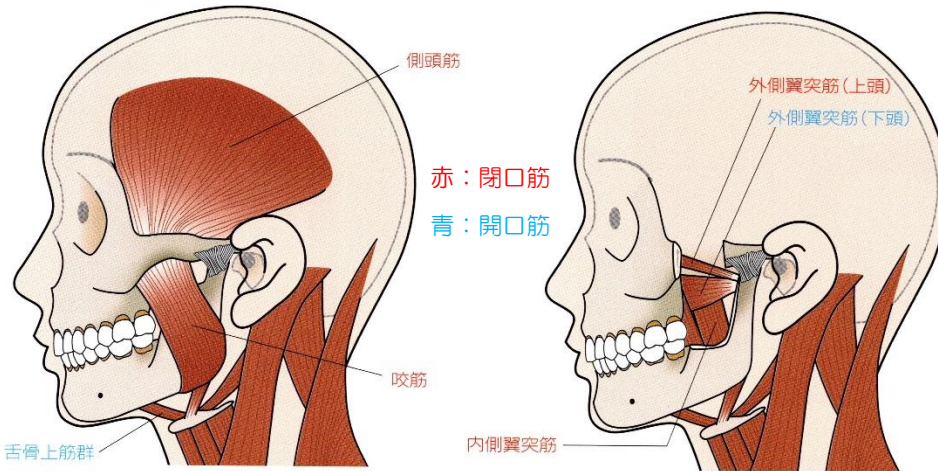
1-顎関節 (TMJ) の解剖



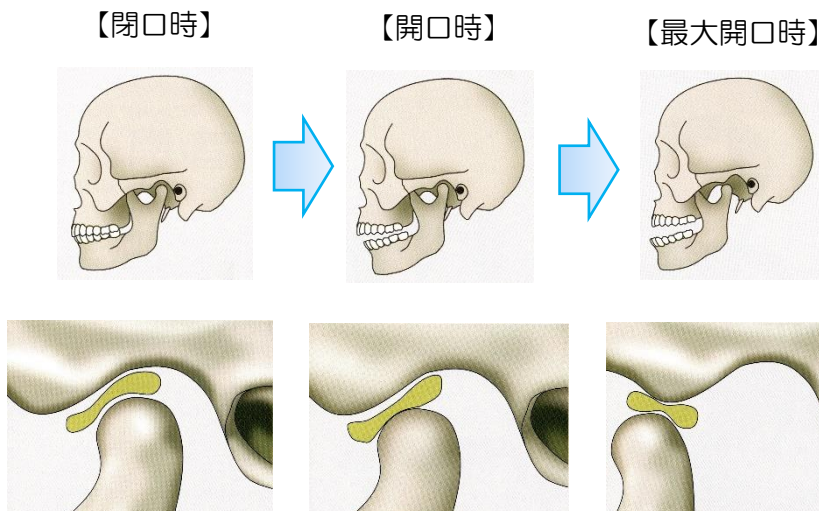
2-関節包/靭帯



3-顎関節の筋肉とは?



4-関節円盤の機能とは?



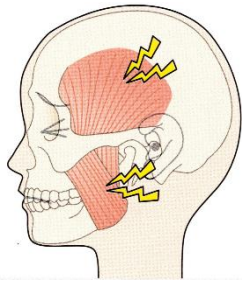
5-顎関節症の3大症状とは?



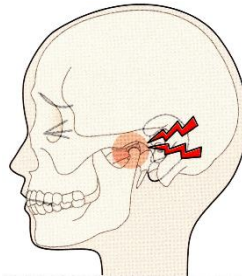
- ① 疼痛・・・咀嚼筋由来 or 関節由来
 ② 開口障害・・・疼痛由来 or 円盤由来
 ③ 関節雑音・・・クリック or クレピタス

6-分類とは？（本編の最重要項目）

【Ⅰ型 咀嚼筋障害】

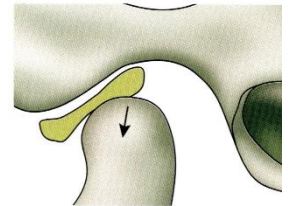


【Ⅱ型 関節包/靭帯障害】

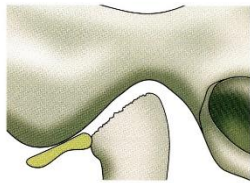


【Ⅲ型 関節円盤障害】

復位性



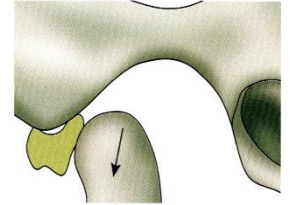
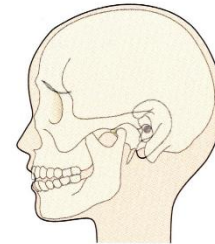
【Ⅳ型 変形性関節症】



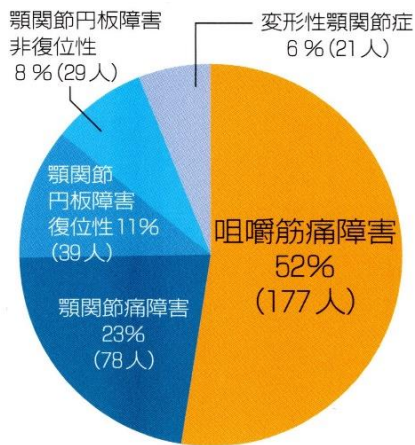
【Ⅴ型 その他】



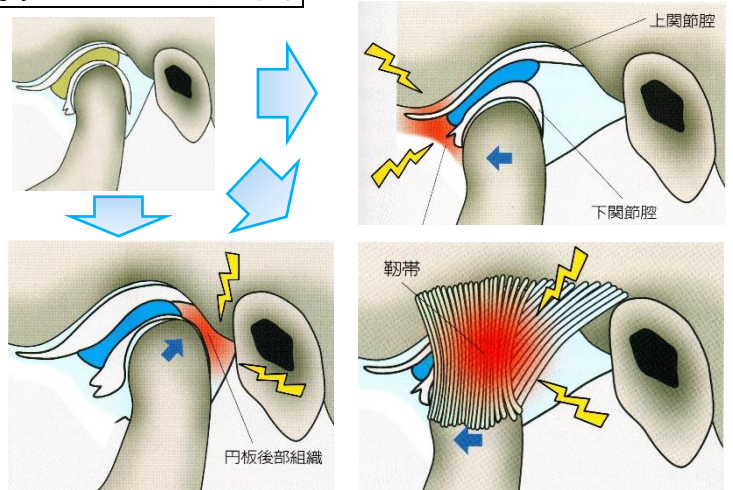
非復位性



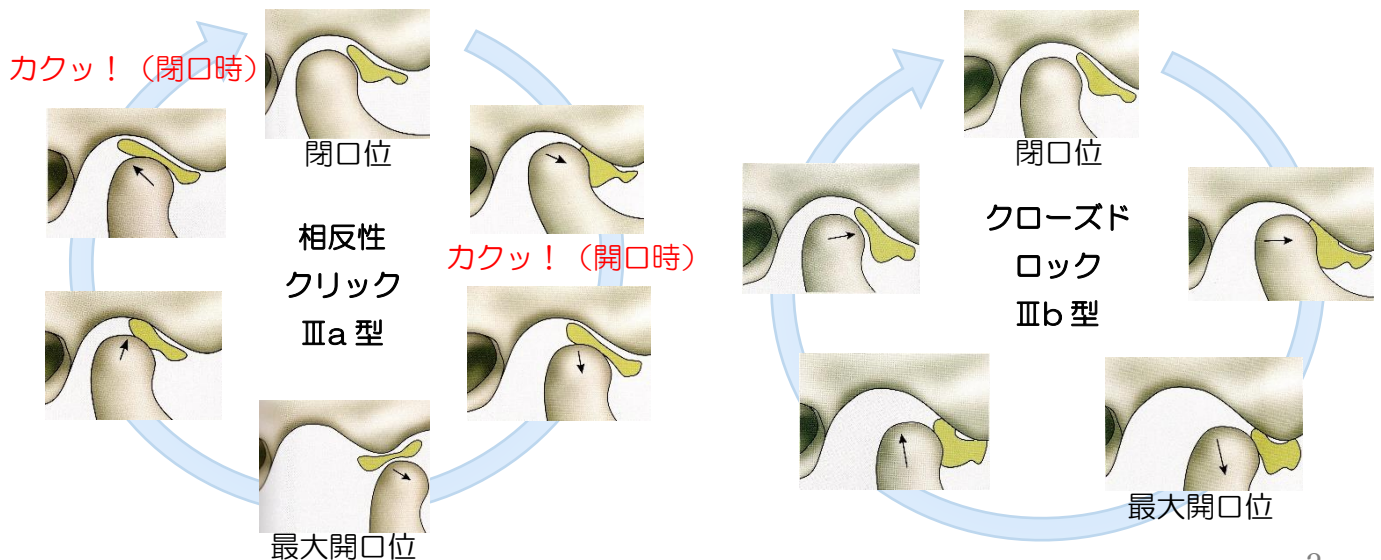
7-症例（2015/慶応医大）



8-痛みのメカニズムとは？



9-ところでⅢ型の復位性/非復位性とは？



10-顎関節症の原因とは？

【 1 歯ぎしり/くいしばり 】

睡眠時ブラキシズム



覚醒時ブラキシズム(歯の接触癖)



【 2 咬合不全/咬合異常/低位咬合 】

前歯部オープンバイト

片側性クロスバイト



【 3 外傷 】 → “外傷性顎関節捻挫（急性）”

打撲



大欠伸



無理な硬固物咀嚼 長時間の歯科治療



【 4 心理的要因 】

職場でのストレス



介護の負担



11-本日のまとめ

病型分類		主症状	発生機序
I 型		・ 左記を主徴候としたもの。	・ ・
II 型		・ 左記の慢性外傷性病変を主徴候としたもの。 鑑別診断①⇒ 所見⇒ 鑑別所見②⇒ 所見⇒	・
III 型	別名：	・ 左記異常を主徴候としたもの。 a 復位を伴うもの クリック（ ） 症状/所見⇒ b 復位を伴わないもの クリック（ ） 症状/所見⇒	・
IV 型		・ 退行性病変を主徴候としたもの 症状/所見⇒	・
V 型		・ I～IVに該当しないもの	・

12-治療法

I 型・II 型	III 型・IV 型	V 型
<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎮痛剤 ・ 筋の手技療法 ・ 徒手矯正法 ・ スプリント療法(マウスピース) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保存療法 スプリント療法 ・ 観血療法 III 型：関節鏡視下手術 IV 型：下顎頭/関節結節修正術 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 抗不安剤